

工芸会たより



施設長挨拶

藤川 保正

二月に入り、新型コロナウイルスが世界中に猛威を奮い、三月中のイベントやスポーツ大会の中止、小学校などの休校が決定され、このままこれが新年度まで続ければ、日本経済だけでなく、世界経済までも相当のダメージを受け危機的な状況となりそうです。何とか、新年度早々に終息し、平常に戻ることを祈るばかりです。

さて、工芸会ワークセンターは、大正八年の株式会社工芸品製作所から数えれば、昨年七月で百年となり、一世紀を超えることになります。この施設を次の世紀に安定的に持続運営できるかは、ひとえに人材の確保と利用者の定員の充足にかかっています。利用者の高齢化に伴い、退所者がここ数年でかなりの人数になると思われ、より一層、九州各地の学校や市町村と連携を保ち、また、平成三十年に新規加盟した全国ろう重複障害者施設連絡協議会加盟施設と協力しながら、新規利用者の増加を図っていきたいと思っております。

聾学校を卒業し、一般企業に就職された聾覚障害者が、コミュニケーションの問題でつまずき、自宅に引きこもり親の保護で生活されている方など潜在的にかなりの支援が必要な方がいるものと思われ、より広報に力を入れ、真に当施設の支援が必要な方の掘り起こしをして行かなければならぬと思つております。また、これに併せ、当施設がより利用しやすくするため短期入所や相談支援事業など新たな事業も展開していくかなければならないと考えています。

最後に、今年の五月一日で中央区平尾からここ田尻の地に移転して三十年となります。ここまで地域に支えられて今日を迎えますが、今後も紙リサイクル事業や校区の単身高齢者等に対する支援ボランティア「まごの手」などを通して地域貢献をさらに進めてよりよい施設になるよう職員一同努力して参ります。

福岡市障がい者スポーツ大会

令和元年十月二十七日（日）



東平尾公園 博多の森陸上競技場・補助競技場にて第二十四回福岡市障がい者スポーツ大会が開催されました。この大会に参加するため、三週間前から本番に向けて練習を始めました。初めは、やる気が空回りし転倒された方もいましたが、大きな怪我無く終ることができよかったです。当日、工芸会からは、陸上競技に三十二名、フライングディスク競技に二十六名、レクリエーションに十七名、応援十一名の合計八十六名で参加し、皆さん気持ち良さそうに汗を流されていました。

縫製係係長 山口 紀之



八百メートル走に参加し銀メダルを取りました。きつかったです。
来年も八百メートル走に参加すると思いますので練習がんばりたいと思います。

〔陸上〕

利用者..比嘉 宗太さん



「フライングディスク」
利用者..吉田 和子さん
フライングディスクに参加しました。練習から例年以上に頑張りました。今年はメダルを取り入賞する事ができました。来年もフライングディスクに参加したいと思います。



「レクリエーション」

利用者..友澤 たか子さん

今回初めてレクリエーションに参加しました。洗濯バサミや大きいボールを使ったゲームが楽しかったです。来年もレクリエーションに参加したいと思います。



なごみ係係長 成清 京子

工芸会・田尻苑合同レクリエーション大会が、今年も和やかな雰囲気の中行われました。例年恒例になつてているグランドゴルフやペットボトルボウリングは楽しみにしている方も多く、役員さんにも参加して頂き大盛り上がりでした。前半戦最後の競技はパン食い競争。体を動かしたところでおいしいパンとジュースでひと休み。

後半は、初めてのゲームとして二枚の絵を合わせる絵合わせゲーム、ダンボール板を足で横の人へ渡していくゲームをおこないました。締めは恒例の玉入れを利用者・職員共に本気で樂しみました。

来年も両施設、みんな元気で集えるとよいですね。
(今年の優勝は赤組でした。)

工芸会・田尻苑合同レクリエーション大会



工芸会ワークセンターまつり

十二月一日(日)。十二月とは思えない天気の良さと暖かさの中、第二十九回工芸会ワークセンターまつりを開催いたしました。今回は、法人創立百十周年の記念開催でもあり多くのお客様にご来場いただいたことは、大変ありがとうございます。会場では毎年ご協力いただいている施設や企業様に加え、今年はキッチンカーの移動販売によるお好み焼きやたこ焼きも大人気で長蛇の列ができていました。また、毎年保護者の皆様に作つていただきている豚汁や、工芸会で採れた芋での焼き芋も好評で、あつという間に終了してしまいました。ステージでは福岡西陵高校管弦楽部の演奏や玄海三苦会の皆さんのはよっこ踊りは大変好評で、多くの方が見入っていました。

今年も多くのお客様の協力のおかげで、無事まつりを終える事が出来、大変感謝いたしております。

次回も多くのお客様のご来場、心よりお待ち申し上げております。

軽作業係係長 星野 俊幸



大分旅行

社会見学旅行第一班は、九月二十六日から一泊二日で大分方面へ行つてきました。利用者職員あわせて三十八名、まずは別府の海鮮市場で昼食。新鮮なお刺身やお寿司、郷土料理の「やせうま」をいただきました。次に大分マリーンパレス「うみたまご」の見学。アザラシの散歩に遭遇したり、水中で自由自在に泳ぐイルカを見たり、いつもと違う海の生き物を見ることが出来ました。その後、ホテルでゆつくり温泉に入り夜は宴会です。おいしい料理に舌鼓を打ち、ビンゴゲーム等で大盛り上がりでした。

翌日はキティちゃんの待つ「ハーモニーランド」へ。ハロウィンのコスチュームに身を包んだたくさんのキャラクターのパレードに皆さん目を輝かせていました。また、かわいいお土産もたくさん売つており選ぶのが大変だったようです。無事に全行程を終え、工芸会に帰つて来られて一安心。来年も楽しい旅行になるように元気に過ごしましょう！

生活介護課課長　末吉　智美



広島旅行

社会見学旅行二班は十月十日から一泊二日で広島方面へ行つてきました。早めの朝食を取り、バスで工芸会から広島（呉）に向け、いざ出発。関門海峡から福岡に別れを告げ、中国地方へ。途中休憩を交えながら、呉市へ到着。海軍さんカレーの昼食を頂き、大和ミュージアムと実物大の潜水艦船内を見学後、貸切船で呉湾艦船めぐりをし、貴重な体験をしました。

二日目は、マツダミュージアムで展示された沢山の高級車とハイポーズ。工場内では、車種が違うにも関わらず、確実な組立作業のスピードに驚かされました。その後、山口県防府市で魚介類を堪能した後、

KDDIパラボラ館では、あんな大きなアンテナや海底ケーブルで世界と繋がっている事に驚きでした。沢山の思い出やお土産と共に無事帰路に着きました。

この二日間とも晴天に恵まれ、皆さんにとつて、心も身体も癒され、楽しい思い出が出来た旅行だったと思います。

医務保健係看護師

江口　奈穂美



長崎旅行

社会見学旅行三班は十月三十一日から一泊二日で長崎方面へ行つてきました。まずは長崎の中華街で美味しい中華料理に舌鼓を打ち、次は貸切チャーターボーに揺られながらの軍艦島クルーズ。上陸こそ叶わなかつたものの、間近で見る軍艦島に利用者の皆さんも大興奮でした。夜は雲仙温泉で日頃の疲れを癒し、宴会で美味しい食事とゲームを楽しみました。

二日目は朝から雲仙地獄を散策。硫黄のにおいや煙を体感し、次の目的地では仁田峠ロープウェイで絶景を眺望。目前に広がる雲海の風景はとても神秘的でした。その後、長崎旅行最後の目的地であるカステラ工場で名物のカステラの製造過程を見学。カステラの甘いにおいでお腹を空かせたところで昼食を食べ、食後にはお買い物タイム。皆さん、カゴいっぱいにお土産を買わせていました。

二日間とも晴天にも恵まれ、利用者の皆さん心もお腹もいっぱいになつた旅行だつたのではないでしようか。

縫製係主任 村崎 悠助



長崎旅行



広島旅行



大分旅行



クリスマス会



なごみ係主任 宮原 七穂

十二月十三日に自治会主催のクリスマス会がありました。シャンメリで乾杯のあと一齊にクラッカーを鳴らし、華やかな音が体育館中に響き渡りました。厨房の職員が腕によりをかけたインスタ映えする料理を、みなさんとて美味しそうに食べられました。今年の余興は、一つ目はなごみ係のEX体操、二つ目は利用者有志によるダンス「男の勲章」で盛り上りました。三つ目は恒例となつたみなさんお待ちかねの久林さんによる出し物「クリスマス会のために一生懸命準備してくれた運試しBOX」は参加希望者多数で大人気。ドキドキハラハラ、笑顔に包まれた楽しいゲームとなりました。最後はみんなが楽しみにしているメインイベントのクリスマスプレゼント配り。職員扮するサンタさんが登場すると今年は誰? 誰? と大盛り上り! 一人一人がプレゼントをもらいみなさんが満悦。自治会の皆さんお疲れ様でした。

仕事始め式・新年会



令和二年仕事始め式と新年会を一月六日に食堂で行いました。仕事始め式では、西理事長、藤川施設長より年始の言葉を利用者皆さんへ伝えられ、自治会長の松本義則さんからも「今年も元気に仕事を頑張りましょう」と抱負を伝えて頂きました。毎年、仕事始め式において努力賞と感謝状の表彰を行っています。今年の努力賞は、各作業場より十名の方が受賞され、また感謝状では四名の方が受賞されました。お祝いでは、還暦から卒寿まで六名の方がおられ記念品が贈呈されました。受賞された方、お祝いを受けた方、とても嬉しそうな表情で受けられていました。

新年会では、おせち料理や御寿司・寄せ鍋を頂きました。寄せ鍋は大きな土鍋を八人~十人で囲みいただきます。食堂で十四個の土鍋を使うので、額には汗が出てきます。寄せ鍋の締めは年末にみんなでついたお餅。美味しくいただきました。お腹一杯になり、いくつかのゲームを行い、とても楽しい新年会でした。

今年も元気に笑顔いっぱいの年になるよう頑張りましょう!

総合防災訓練



軽作業係生活支援員 西崎 博子

三月四日（水）に総合防災訓練を実施しました。今年は、新型コロナウイルスの影響で外食会は延期になり、訓練中の消防署の立ち合いもりませんでした。今回の訓練は地震が発生し、津波警報が発令された想定で行いました。まず身の安全を守る為に机の下に隠れ、揺れが収まつてから二階に避難します。職員の声掛けで利用者の皆さんは落ち着いて行動されていました。その後は水消火器の訓練を行い、東日本大震災の記録映像を見て頂きました。津波の生々しい状況に、さんは食い入る様に見入っている様子でした。

災害はいつ起きるかわかりません。日頃の備えの大切さを改めて痛感しました。



苦情・要望の内容について説明をさせて頂きました。
今年度、工芸会ワークセンターでは、利用者の皆様からの苦情受付ボックスによる苦情はありませんでしたが、保護者からの口頭による苦情が一件あり、毎月一回行われる施設長との懇談の日や作業場の懇談の日、毎週金曜に行われる自治会等で出された苦情や要望の主な内容も含め苦情受付担当者（施設長補佐 小原）より説明をさせて頂きました。

工芸会では、日頃より利用者の皆様の苦情や要望を申し出る機会を多く設けており、利用者の皆さんとの意見に耳を傾け、希望や要望についてはできることは早い段階で対応し、苦情に発展しないよう努めています。

第三者委員の方々からは、「他の現場で苦情の内容を聞くと、あなたにも問題があるのでは？」と言う事もあるようです。報告を見るときちんと対応されているのが分かります。今後もよろしくお願ひします。」「苦情があるのは、改善しようという気持ちの表れで良いことだと思います。」等の助言をいただきました。

今後も利用者の意見に耳を傾け、安心し充実した施設生活が過ごせるよう、職員一同更なる福祉サービスの向上に努めて参ります。

苦情解決第三者委員会

令和元年度、苦情解決第三者委員会を二月三日（月）工芸会ワークセンター多目的ホールにて開催致しました。本年度の苦情解決第三者委員会は、昨年一月に新たに苦情解決第三者委員に就任された、元玄洋公民館長の渡辺景信委員と周船寺校区社会福祉協議会会长の池田文恵委員の出席のもと開催致しました。

施設長補佐 小原 勲

表彰・感謝状受賞者紹介

瑞宝章光章受章

令和元年十一月三日付

木工係生活支援員 長田 隆盛

九州社会福祉協議会連合会

会長表彰受賞

令和元年八月十五日付

なごみ係主任 宮原 七穂

福岡市社会福祉協議会

会長感謝状受賞

令和元年十一月十五日付

庶務経理係事務員 下川 桂一郎

なごみ係主任 宮原 七穂

招待事業

プロ野球観戦
令和元年八月二十二日 三十名招待
令和元年九月二十日 三十名招待
大相撲九州場所観覧
令和元年十一月十二日 十二名招待

新規採用職員のお知らせ

令和元年九月九日付

有期契約職員 生活支援員

生活支援員 森 智子

人事異動のお知らせ

令和二年二月一日付

田尻苑より

庶務経理係長 奥田 朋佳

庶務経理係事務員 長田 盛隆

令和二年度 行事予定

四月
五月一日
五月二日
五月一日
五月二日
六月
七月
十月

- ・花見会・健康診断
- ・工芸会移転開設
- ・三十周年記念行事
- ・福岡市障がい者
- ・レクリエーション大会
- ・野外活動
- ・七夕・夕涼み会
- ・社会見学旅行(三グループ予定)

有期契約職員調理員
夜間生活支援員

高橋 文郎
中嶋 美芳

浪口 洋子
長谷川 誠

退職職員

令和元年八月三十一日付

有期契約職員 生活支援員

永村 美津子
三苦 美幸

木工係生活支援員 長田 隆盛

生活支援員 生活支援員

高橋 文郎
中嶋 美芳

スポンサーの各社様、
ご招待ありがとうございました。

新型コロナウイルスの影響で行事については今後変更並びに
中止になる場合があります。

発行 社会福祉法人 福岡ろうあ福祉会
障害者支援施設 工芸会ワークセンター
〒819-0383

福岡市西区大字田尻 2542番地

TEL 092-806-7774

FAX 092-806-8962

E-mail kougeikai@kougeikai.or.jp

URL http://www.kougeikai.or.jp